

宇宙の安全保障構想と新たな宇宙基本計画に向けて
～国家宇宙戦略の策定とSXの実現～ (概要)

安全保障と宇宙利活用の有機的連携

「宇宙からの安全保障」の確保

- 継続的監視機能を持つミサイル防衛用宇宙システム等の構築
(情報収集衛星10機体制への強化、衛星コンステレーションの整備)
- 準天頂衛星システムの11機体制への拡張
- 防衛用通信衛星の多層化、海洋状況把握の能力向上
- 通信衛星コンステレーションの整備、光通信衛星等の共通技術の確立

「宇宙における安全保障」の確保

- 宇宙システム全体のサイバーセキュリティ強化
- 宇宙領域把握 (SDA)体制の構築、スペースデブリ対応
- 航空宇宙自衛隊 (今後)の人的基盤の強化

成長する宇宙産業

- 「国家宇宙戦略」及び「技術開発戦略」の策定
- 宇宙輸送能力の強化 (価格競争力向上、月への高頻度輸送システムの構築)
- スタートアップ等からのアンカーテナンシー等の拡大、契約制度の見直し
- 宇宙空間における国際的なルール形成への主体的な貢献

月面有人活動

- アルテミス計画の着実な促進 (日本人宇宙飛行士を月面へ)
- 月の水資源の利用のための技術開発の推進
- ポストISS (国際宇宙ステーション) についての早急な検討
- 2029年世界初の火星圏からのサンプルリターンを目指したわが国独自のプログラムの推進

安心・安全のための宇宙利用

- 災害対策・国土強靱化・地球規模課題解決のための地球観測衛星の整備
- 2025年までに小型レーダー（SAR）衛星コンステレーションの構築
- 衛星データの利活用推進

宇宙システム基盤の構築

- 光通信等の衛星コンステレーション基盤技術の獲得
- 独自の通信衛星コンステレーションの構築
- 衛星量子暗号通信の実証実験
- 商業的デブリ除去事業の支援
- 宇宙交通管理（STM）に関する国際的なルール形成への貢献
- 月面活動をリードするための会議体の立ち上げ
（月における中長期的な活動に向けたビジョンの策定とロードマップの作成等）
- JAXAの先端的技術開発力の抜本強化
- JAXAに資金供給機能を追加（「宇宙開発基金（仮称）」の設置（1兆円／10年））
- 小中学校での宇宙プログラムの活用
- 他産業から宇宙分野への人材流入促進

国家宇宙会議の設置

- 宇宙関係予算は1兆円／年を目指すこと
- 宇宙開発戦略本部の「国家宇宙会議」への改編